

基礎 Pro/Engineer(Creo) ①

基本操作について学ぶ（ファイルの作成から簡単な部品の作成（Fig.1）まで）

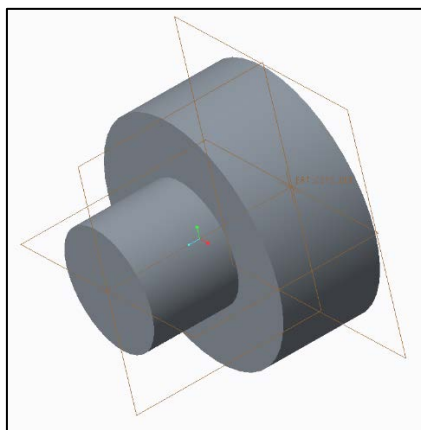


Fig.1 完成図

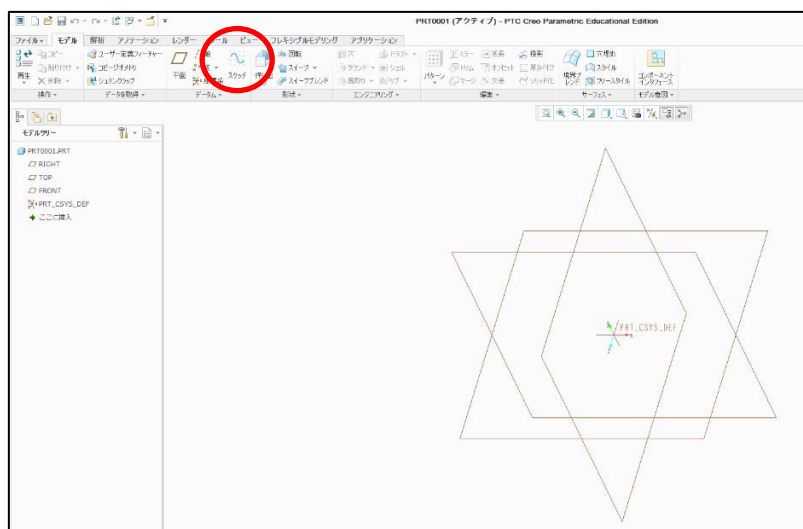
1. ファイルの新規作成


Creo はデフォルトではインチ表示なので mm 表示に変更する。詳しくは別紙を参照。

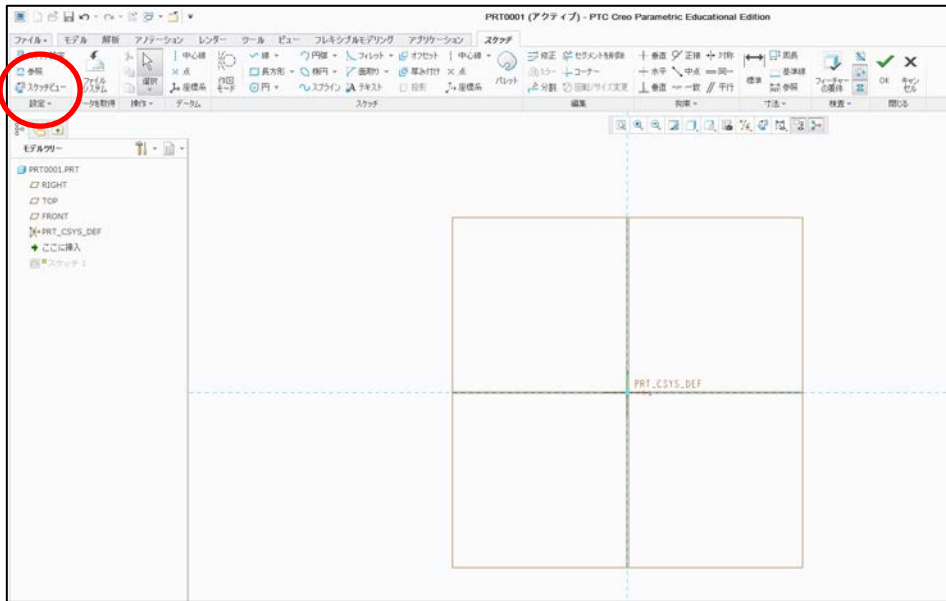
[ファイル]→[新規]→[部品]が選択されていることを確認し[デフォルトテンプレート使用]のチェックをはずし OK。[solid_part_mmks]を選択し OK で始める。


2. 基本操作・部品の作成

2-1 基準面の選択



[スケッチツール]  を選択し、マウスで平面を選択後、[スケッチ]を選択する。





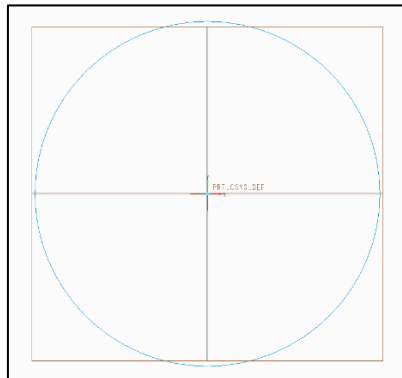
左上のスケッチビュー  を選択し平面を正面に向ける。

2-2 2次元モデルの作成

選択可能な2次元モデル描画ボタンから適するものを選択する。(ここでは、ためにしに円を描画してみる。)




まず、 を選択し、円の中心点を左クリックして決定する。適当な大きさにしたら、左クリックで一つの形状の描画が終了する。マウスのホイールをクリックすると、寸法が表示されるので、寸法をダブルクリックして、モデルの大きさを調節することができる。今回は練習なので寸法は好きに調節してかまわない。2次元モデルが作成できたら右上のチェックボタン  をクリックし、2次元モデルの作成を終了する。



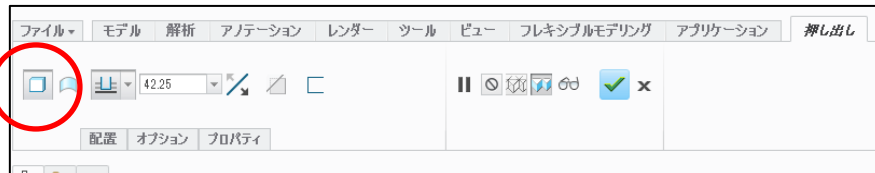
2-3 2次元モデルから3次元モデルへの押し出し



3次元ソリッドモデルの作成は2次元モデルを3次元方向に押し出すことにより行う。実際に2次元モデル（円）を3次元方向に押し出してみる。



[押し出しツール]  を選択する。次の操作を行うことで3次元モデルを好きな角度から見ることができる。

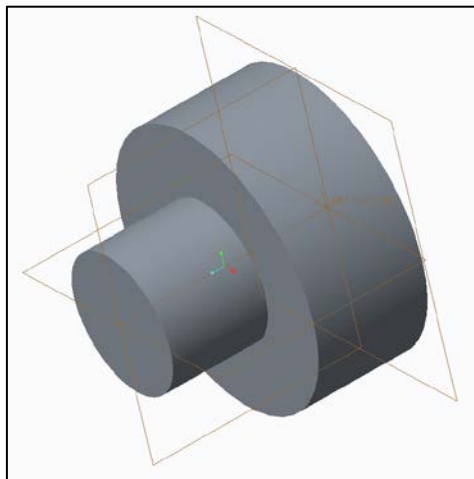
- ・ マウスのホイールを押し込みながらマウスを動かすことでモデルが回転
- ・ マウスのホイールをスクロールさせることでモデルの拡大と縮小



[ソリッドとして押し出します。]  が選択されていることを確認する。引き伸ばす量を決め、[チェックボタン]  で終了。

2-4 形状の付け足し

これまでに作成したモデルの上から同様の手順で3次元モデルを作成すればよい。基準面（付け足したい平面）を選択して、スケッチツールを選択し、円を描画する。押し出せば完成図に至る。



3. ファイルの保存

[ファイル]→[名前を付けて保存]→[コピーを保存]を選択し、半角英数字で名前を付けて保存する。